地域と創る持続可能な公共交通
「チョイソコ」
— 全国の導入事例ご紹介 —

株式会社アイシン
移動サービス事業推進部

機能全般及び画面構成や操作性

使う人すべてにやさしいシステムです。

全国の導入事例ご紹介

【長野県中川村】 交通空白解消のための公共ライドシェア運営

課題：地域交通を担っていたNPO法人の事業撤退による交通空白地帯の解消。

事例概要：公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）による運行。事業主体&ドライバー&コールセンターは中川村、運営サポートを長野トヨタ自動車、システムをアイシンが担う。

特徴 1

自治体による公共ライドシェア（自家用有償旅客運送）

- ・朝と夜のみ の 定時定路線バス運行 + 朝～夕 の オンデマンド運行。
- ・高齢者、免許自主返納者、障がい者手帳保持者は自宅まで送迎。
- ・2台の車両で村内全域（77.05km²）をカバー。

特徴 2

住民利便性の向上のための村外停留所設置

- ・近隣の松川町（JR伊那大島駅、下伊那赤十字病院、松川高校、等）、飯島町（JR飯島駅、JR七久保駅、飯島体育館前、等）にも停留所を設置、通院や通学利用を促進。

特徴 3

村内公共交通（コミュバス）との連携による相互補完

- ・既存の巡回バス停留所をチョイソコ兼用停留所とし、チョイソコ乗車についても、**村営巡回バス定期券の利用が可能。**（定額制1,000円/月）
- ・時間、目的に合わせた交通モードを住民が選択可能。

運行サービス

事業名	チョイソコなかがわ
運行期間	2022年10月3日運行開始～継続中
運行曜日	月、火、水、木、金（祝日、お盆、年末年始除く）
運行時間帯	8:00～17:00
予約方法	コールセンター・インターネット
予約受付時間	コールセンター：平日8:30～17:00 インターネット予約受付：24時間 【予約受付期間】 電話予約：希望日の2週間前～1時間前まで インターネット：希望日の1週間前～1時間前まで
運賃設定	一般：村内500円、村外1000円 65歳以上、障がい者手帳保持、免許返納、小中高生は半額

【沖縄県東村】複数運行モードでの公共ライドシェア

交通空白対策

地域交通の共存

課題：交通空白地域・不便地域の解消と、通勤・通学移動への対応。

事例概要：時間帯によって同一車両が運行モードを変化させ、異なる移動需要に対応。

特徴1

移動需要に併せた最適な運行モード切り替え

- ・朝夕は通勤・通学手段として定時定路線運行。（会員登録不要）
- ・需要が落ちる日中は同一車両でデマンド運行（会員登録要）。

朝		定時定路線運行（予約無し）
9:00~17:30		デマンド運行（予約必要）
夕		定時定路線運行（予約無し）

特徴2

観光二次交通としての活用

- ・村民のみでなく観光客も無償で乗車が可能。
- ・**観光地を掲載した停留所マップ**や、**ワンタイム予約を導入**することで、観光地への移動手段として利用を促進。

運行サービス

事業名	東村コミュニティバス
運行期間	2023年10月1日運行開始～継続中
運行曜日	定時定路線：365日 デマンド：月、火、水、木、金（平日のみ）
運行時間帯	定時定路線：朝夕（曜日、路線により運行時間は異なる） デマンド：9：00～17：30
予約方法	コールセンター・インターネット
予約受付時間	希望日の60日前～60分前まで
運賃設定	無料

課題：①市境周辺の住民移動ニーズが隣接する市町にある。②事業運営コストの低減。
 事例概要：「チョイソコかわしま」「チョイソコカラタン」の2つをシステムを連携させ、各務原市（川島地区）から笠松町を挟み岐阜市まで1度の予約で乗り継ぎも活用して移動可能。

特徴1

異なる自治体で運行する2つのサービスシステムを連携

- ・別々に運用しているシステムを連携することができるため、**それぞれの地域にあわせた運行設計を行うことができる。**
- ・運用に合わせたデマンド車両乗り継ぎ設定により、効率良い運行が可能。

特徴2

自治体を越えた運行エリア

- ・市町を越えて運行エリアに点在するショッピングモールや駅、総合病院といった施設への地域住民移動ニーズへの対応。
- ・行楽地として人気のある公園施設や博物館まで、観光客も利用可能。

特徴3

単一民間事業者による複数市町をまたいだ運営により事業コスト低減

- ・民間企業が事業主体となり複数自治体を束ねて運営を行うことで、運行車両やコールセンターを効率良く運営。
- ・地域でのスポンサー獲得や高齢者の外出促進施策を実施、運営費や将来の社会保障費低減へ繋げる。

運行サービス	事業名	チョイソコかわしま + チョイソコカラタン
	運行期間	2024年10月～ 連携開始
	運行曜日	月、火、水、木、金
	運行時間帯	8:30～17:30
	予約方法	コールセンター・インターネット
	予約受付時間	チョイソコセンター：平日8:30～17:30 インターネット予約受付：24時間 【予約受付期間】希望日の1週間前～30分前まで
	運賃設定	ひとり1乗車250円・小学生以下100円

【神奈川県川崎市】モビリティハブ実用性の検証

課題：①将来的に路線バス減少が見込まれるエリアの交通サービス水準維持。
 ②若い世代の地域社会とのつながり創出と地域コミュニティへの参加気運の醸成。
 事例概要：ヒト、モノ、情報が集まる「地域のハブ」としてカーディーラー店舗を活用できるか検証。

モビリティハブとしてのカーディーラー店舗活用

宅配ボックス・シェアサイクル

マルシェイベント

習い事サポート

運行サービス	事業名	チョイソコかわさき
	運行期間	2024年11月～2025年1月（3ヶ月間）
	運行曜日	月、火、水、木、金
	運行時間帯	10：00～22：00
	予約方法	インターネット
	予約受付時間	インターネット予約受付：24時間 【予約受付期間】 希望日の2週間前～30分前まで
運賃設定	ひとり1乗車500円、未就学児無料	

特徴1

トヨタ販売店4店舗を「モビリティハブ」と定義づけ以下を実施

	WTK 中原店	WTK 北加瀬店	WTK 加瀬店	TMK 中古車 タウン 中原店
チョイソコ停留所	○	○	○	○
路線バス停留所	30～ 120m	110～ 150m	140～ 180m	130～ 250m
シェアサイクル	○	—	○	—
宅配ボックス	—	—	○	—
マルシェイベント	○	—	—	○
店舗イベント	○	○	○	—

※ WTK：ウエイズトヨタ神奈川 TMK：トヨタモビリティ神奈川

特徴2

LINEの活用

- ・チョイソコ会員登録、乗車申し込み、停留所マップ・・・運営コスト低減
- ・イベント告知と参加申し込み受付・・・タイムリーな外出促進提案
- ・シェアサイクル/バス路線サイトへの誘導・・・モビリティハブの利用促進

【山梨県都留市】AI自動音声応答と連携したコールセンター実証実験

課題：①アプリが使えない人への対応。②事業運営費におけるコールセンター費用低減。
事例概要：AI自動音声応答技術を持つアイネス社とアイシンのコールセンターが連携。一般的な乗車予約はAIが対応し、イレギュラー対応のみ有人コールセンターが対応。

特徴1

AIコールセンターによる電話受付

- ・電話による乗車予約をAI自動音声応答が実施、アプリが使えない人でも口頭で予約可能。
- ・95%以上の予約がAI自動音声応答で正常に完了し、7割以上の利用者が「大変満足」「満足」と回答。

特徴2

乗降時の会員証スキャンによるキャッシュレス決済(今回は無償のため検証のみ)

- ・利用者は予め配布されたバーコード入り会員証を乗降時にドライバーへ提示、会員証をスマートフォン端末で読み取ってODデータの取得&決済を実施。

特徴3

マイナンバーカード/住民ポータルサイトとの連携 ※本実証には含まず

- ・自治体の基盤システムを扱うアイネス社の強みを活かし、マイナンバーカードと連携した会員証やキャッシュレス決済、自治体の住民向けポータルサイトと連携した移動サービスの追加提供も可能。

運行サービス	事業名	AI (あい) つる〜と
	運行期間	2024年2月17日～2月28日 (2週間)
	運行曜日	月、火、水、木、金 (祝日除く)
	運行時間帯	8:00～17:00
	予約方法	AI自動音声応答 + 有人コールセンター・インターネット
	予約受付時間	平日8:00～16:00 【予約受付期間】乗車の30分前まで
	運賃設定	無料

輸送に関わる新サービスの展開

アイシンの持つ自動車関連技術を応用した、移動に関わる新サービスの開発／検証を継続して行っています。

2024年度の実証例（画像認識技術の応用）@愛知県刈谷市

▶ 「忘れ物検知機能」

忘れ物は乗客にとって貴重品を紛失するだけでなく、運行业者にとっても回収・保管の手間が発生しています。

今回、カメラ画像から荷物と持ち主の関係性を推測することで、降車時に忘れ物を検知し、降車した乗客へ忘れ物を確認する旨を音声で通知する機能を開発しました。

その機能によりどの程度忘れ物が無くなるかを検証します。

▶ 「乗降者人数カウント機能」

地域の移動需要を把握することは、公共交通の改善に役立ちます。

今回、カメラ画像から乗降車した人数を判定し、人数とGPSからの位置情報を関連付けて集計することで、詳細な人の動きを把握する機能を開発しました。

従来、運転手が実施していた乗降人数をカウントする業務の負担を本機能で低減し、正確に乗降人数が把握できるかを検証します。

今年度もアイシンならではのサービス開発を継続していきます。

AISIN
We Touch the Future